

# 水土里ウォーク in 鳴鹿は 福井の米どころを支える水源を探訪



平成 17 年 9 月 23 日、福井県丸岡町(現福井県坂井市丸岡町)で開催した「水土里ウォーク in 鳴鹿」は、県内外から 310 名もの方が参加する盛大な大会となりました。

会場となった鳴鹿地域は、県内最大の穀倉地帯である坂井平野を潤す水源に位置し、今回の「水土里ウォーク」は九頭竜川から取水する鳴鹿大堰やここから分水する複数の用水路など、奈良時代から用水開発の行われた県内でも歴史のある農業地帯を巡るコースです。

当日は秋晴れの晴天にも恵まれ、天気には負けないぐらい気持ちの良い完歩宣言の後、5 km先のゴールをめざして、皆さん元気よくスタートされました。

コース途中に設けられた5つのチェックポイントには、用水路の歴史や役割などに関するクイズがあり、皆さんクイズを楽しみながら、農業用水や施設への理解を深めていました。

また、休憩ポイントとなった九頭竜川堰堤土地改良区連合事務所では、用水管理施設の見学や地域特産のソバを使った手打ち蕎麦も振る舞われました。

参加者の皆さんは、鳴鹿大堰の雄大さに驚き、地域の味覚を堪能されていました。





こうして、秋晴れのもと爽やかな汗をかきながら、皆さん見事に5 kmのコースを完歩されました。

完歩者には、完歩証と地域の特産物である新米コシヒカリや花らっきょう、さつまいもなどがプレゼントされました。

ゴール後は、完歩証を手に記念撮影されたり、コースの感想を話し合ったり思いおもいに今回の「水土里ウォーク」を振り返っておられ、皆さんの表情には充実感が溢れていました。

参加者からは「普段気にとめていない用水の役割や歴史に触れ、とてもためになった。」、「豊富な水量と鳴鹿大堰の雄大さに驚いた。」などの感想が寄せられ、私どもも非常に充実した時間を共有させていただきました。

---